

学校だより6月号

令和5年5月31日



南舞岡小だより



学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 TEL 823-4120,4130

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

「当たり前のことを当たり前」

副校長 佐藤 朋実

スポーツフェスティバルが春開催に戻って2年目。今年度は参観者の人数制限なしで実施することができ、子どもたちは多くの方々に見守られ、応援を受けながら、演技や競技に一生懸命取り組むことができました。練習・準備期間を含めて、ご家族や地域の皆様にお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

さて、副校長の日課として朝夕に校内を見回っています。時間に少し余裕があるときには、見回りながら教室や廊下の掲示物を見ることが楽しみでもあります。本校の一般学級は現在3学年が2学級編成となっており、その学年では4月に「学級開き」とともに「学年開き」となる活動も行われ、廊下には学年としての目標やモットーが掲示されています。

その中に「当たり前のことを当たり前」という言葉があり、足を止めさせられました。「当たり前のことを当たり前にやるのが大切」「物事を成し遂げるうえでは、特別なことではなくごく平凡なことを当たり前でできるか、徹底してできるかにかかっている」といった意味が込められていると思います。この「当たり前」が実は意外と難しく、ある人にとっては当たり前で何事もなくてできることでも、ある人にとっては努力が必要で時には困難なこともあります。また、平凡なことであっても徹底して続けることは難しいという場合も多々あると思います。

その中でここでは二つのことを取り上げたいと思います。一つは挨拶です。これは昨年度から折に触れてお伝えしていることですが、南舞岡の子どもたちは「自分から」挨拶のできる子の割合が高いと感じており、これはご家族や地域の方々の日々の関わりの積み重ねのおかげでもあると思っています。もう一つは横断歩道の渡り方で、朝、校門近くの横断歩道に立っていますが、信号や左右を確認する子は割と多いです。しかし、残念ながら必ず手を挙げて渡る子はあまり多くありません。特に正門前の交差点は交通量が多いので、手を挙げることで存在をアピールできるのですが、信号があたり友達が一緒だったりして安心しているのでしょうか。「手を挙げて横断歩道を渡る」ことをきちんと続けている子の姿を見て、「自分が正しい、やるべきだと思ったことをやり通す」ことができることにも通じ、続けてほしいと思いながら称賛の声をかけています。

「当たり前のことを当たり前」

徹底することは難しいこともありますが、本校で育成を目指す資質・能力の「主体性」や「協働」にもつながる力として身に付けてほしいと願っています。